

宗教行事など

キャンドルサービス

December 25, 2014 00:00



本校の「クリスマスみ言葉の祭儀」の前の静謐（せいひつ）のひと時です。



とても荘厳なHoly(聖なる)時間を過ごしました。聖霊の訪れを感じます。



キリスト教は黙想を大切にしています。D聖堂に集う生徒全員が黙想しています。



カトリック教育推進委員会の先生が、み言葉の朗読を行いました。



クリスマス実行委員会の生徒たちが聖堂の壁際に整列し、これからキャンドルサービスが始まります。



蠟燭（ろうそく）はキリスト教では自己犠牲の象徴とされています。熱さに耐えながら自分自身を燃やして周囲を明るく照らし、自分自身の身体はどんどん消滅していくからです。



本学院の評議員でもあるI神父さまの説教の様子です。
とても分かりやすく、心に沁みるお話でした。



共同祈願の様子です。各学年の代表が決意を述べた後、「主よ、私たちの願いを聞き入れてください」と全員で祈ります。

お祈りについて、自分自身の欲望を満たす望みは聞き入れていただけません。自分以外の誰かのための祈りは聞き届けていただけます。神様は、私たちの一人ひとりにとって必要なものを知っておられるからです。

私は、生徒たちの幸せをお祈りします。



神父さまから学年ごとに祝福を送っていただきました。



高校1年生が起立し祝福を受けています。
普段やんちゃな生徒たちが神妙な面持ちで祝福を受けています。
横顔が、とても美しいと思いました。